

令和3年度

社会福祉法人 下妻市社会福祉協議会 事業報告

今般の新型コロナウイルス感染症は私たちの生活に大きな影響をもたらし、外出や地域活動の自粛、学校や施設の休業、経済活動においては様々な業種の方々が大幅な収入の減少を余儀なくされました。

このため、昨年と同様、生活に困窮された世帯への支援を重要課題とし、新しい生活様式に基づき感染拡大に留意しながら各種事業を実施しましたので報告いたします。

【重点目標に対する経過報告】

新型コロナウイルス感染症の影響を受け生活に困窮された世帯に対し生活費の貸付や賃貸住宅の家賃の給付、食料の支援などを通じ生活の支援を行いました。

近年、全国的に発生している自然災害に備えるため、茨城県社会福祉協議会と共催により、災害ボランティアセンター運営訓練を行いました。

【法人運営・管理】

1. 総務部門

(1) 理事会・評議員会等の開催

① 理事会

回数	開催日	会場	議事
1	令和3年 4月13日	※書面決議による開催	・役員等賠償責任保険契約の締結について
2	令和3年 6月15日	下妻公民館	・定款の一部改正について ・理事及び監事の推薦について ・評議員候補者の推薦について ・令和2年度事業報告について ・令和2年度会計収支決算について ・監事の監査報告について ・定時評議員会の招集について ・会長及び常務理事の職務執行状況について
3	令和3年 7月2日	下妻公民館	・会長・副会長（2名）及び常務理事の選任について ・評議員選任・解任委員の選任について

4	令和4年 3月16日	下妻公民館	<ul style="list-style-type: none"> • 令和3年度会計収入支出補正予算（第1号）（案）について • 職員就業規程の一部改正について • 嘱託職員就業規程の一部改正について • 臨時職員就業規程の一部改正について • 下妻社協ケアセンター訪問介護事業・介護予防訪問介護相当サービス事業運営規程の一部改正について • 下妻社協ケアセンター地域密着型通所介護事業・介護予防通所介護相当サービス事業運営規程の一部改正について • 居宅介護支援事業運営規程の一部改正について • 下妻社協ケアセンター生活介護事業運営規程の一部改正について • 下妻社協ケアセンター指定居宅介護等事業運営規程の一部改正について • 下妻市中心身障害者福祉センターひばりの生活介護事業運営規程の一部改正について • 指定地域移行支援事業所運営規程の一部改正について • 理事の推薦について • 令和4年度事業計画（案）について • 令和4年度会計収入支出予算（案）について • 役員等賠償責任保険契約の締結について • 評議員会の招集について • 会長及び常務理事の職務執行状況について
---	---------------	-------	--

②評議員会

回数	開催日	会場	議事
1	令和3年 6月28日	下妻公民館	<ul style="list-style-type: none"> • 令和2年度事業報告について • 令和2年度会計収入支出決算について • 定款の一部改正について • 理事及び監事の選任について
2	令和4年 3月29日	下妻公民館	<ul style="list-style-type: none"> • 令和3年度会計収入支出補正予算（第1号）（案）について • 職員就業規程の一部改正について • 嘱託職員就業規程の一部改正について • 臨時職員就業規程の一部改正について • 下妻社協ケアセンター訪問介護事業・介護予防訪

			問介護相当サービス事業運営規程の一部改正について ・下妻社協ケアセンター地域密着型通所介護事業・介護予防通所介護相当サービス事業運営規程の一部改正について ・居宅介護支援事業運営規程の一部改正について ・下妻社協ケアセンター生活介護事業運営規程の一部改正について ・下妻社協ケアセンター指定居宅介護等事業運営規程の一部改正について ・下妻市心身障害者福祉センターひばりの生活介護事業運営規程の一部改正について ・指定地域移行支援事業所運営規程の一部改正について ・理事の選任について ・令和4年度事業計画（案）について ・令和4年度会計収入支出予算（案）について
--	--	--	--

③評議員選任・解任委員会

回数	開催日	会場	議事
1	令和3年 6月25日	下妻公民館	・評議員の選任について

(2)苦情解決体制の強化

社協関連施設内へのポスター掲示により、利用者への制度の周知を図りました。
令和3年度において苦情件数はありませんでした。

(3)広報・啓発活動

①広報紙「ふくしものがたり」等の発行

紙面の構成や掲載写真等を工夫し、わかりやすく、関心を持っていただける紙面づくりに努めました。

内容	発行	配布先
社協広報紙「ふくしものがたり」	年6回（268号～273号）	市内全戸
社協会員会費募集チラシ	年1回	



社協広報紙「ふくしものがたり」



社協会員募集チラシ

②ホームページ

見やすく分かりやすい情報の発信を心掛け、ホームページの運営を行いました。



社協ホームページ

③その他の広報

SNS（ツイッター）を活用し、下妻市の地域福祉に関する情報を随時発信しました。



(4) 会員増強運動の実施

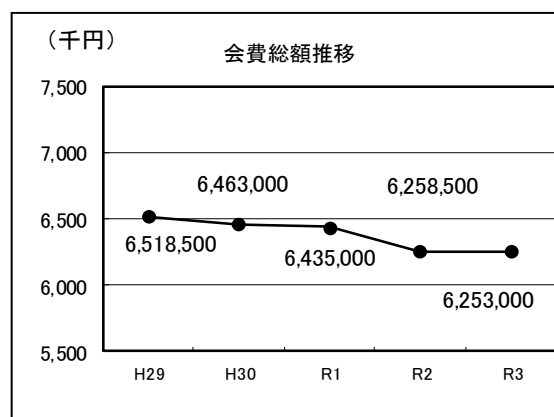
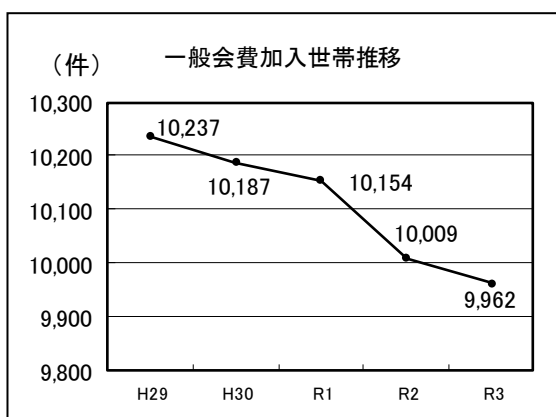
会費を財源とする事務事業を明確にした予算編成、執行管理を行いました。

＜説明会等の開催＞

種類	開催日	会場	内容	対象者
一般会費	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、説明会の開催を中止（郵送にて依頼）		取りまとめ依頼 取扱説明	支部推進員 (各自治会長)
特別会費	5月31日	下妻公民館		支部代表者

<加入実績>

種類	会員数	会費額	対目標額
一般会費	9,962世帯	4,981,000円	99.2%
特別会費	233件	1,272,000円	103%
計	—	6,253,000円	99.9%



(5) 茨城県社会福祉大会における表彰

地域福祉の進展に資するため、市内福祉事業に功労のあった方や団体等に対し、茨城県知事、茨城県社会福祉協議会会長及び茨城県共同募金会会長より表彰が行われる予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため大会は中止となりました。

<第71回茨城県社会福祉大会における受賞者数>

区分	人数
茨城県知事表彰	個人17名、3団体
茨城県社会福祉協議会会長表彰	個人3名、1団体
茨城県共同募金会会長表彰	個人2名

2. 労務管理部門

(1) 職員研修の実施

社協の自主研修の他、下妻市役所、全国・茨城県社会福祉協議会主催の研修会に参加しました。

研修内容
災害ボランティアセンター設置・運営訓練、「災害初動期対応チーム」メンバー養成研修、労務管理とコンプライアンス研修、生活困窮者支援員等研修 ほか

(2) ストレスチェックの実施

メンタルヘルス不調を未然に防止することを目的に、全職員を対象にストレスチェックを実施しました。(62人実施)

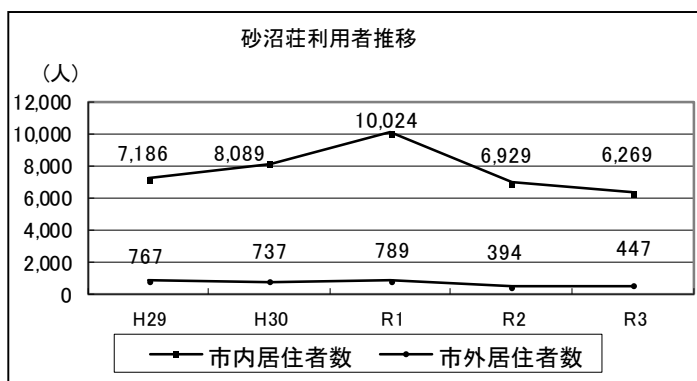
(3) 新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、職員や来所者の体温チェック・アルコール消毒を徹底しました。また、来客スペース等の消毒作業を毎日実施しました。

3. 指定管理者制度に基づく施設の管理・運営

①福祉センター「砂沼荘」

区分	利用者数
市内居住者	6,269名
市外居住者	447名
計	6,716名



子供から高齢者まで利用できる健康増進施設として、下記の講座を開催しました。

講座名	開催日	延べ参加人数
ちびっこ広場（サロン）	毎月 第1火曜日	24組 42名
親子リトミック	毎月 第4金曜日	28組 52名
健康体操教室	毎月 第1・第2・第3水曜日 第2・第3・第4火曜日	964名
シルバーリハビリ体操教室	毎月 第3火曜日	65名
スクエアステップ教室	毎月 第2・第4火曜日 第2・4水曜日	205名
脳（のう）活（い）きいき教室	毎月 第1火曜日 第1水曜日	150名
男性のための脳トレ・筋トレ	毎月 第3水曜日	37名
健康マーじゃん教室	毎月 第1・2・3・4土曜日	118名
健康&美活・ヨガ教室	毎月 第4水曜日	81名
計		1,714名

②下妻市福祉センター「シルピア」

③下妻市中心身障害者福祉センター「ひばりの」

両施設の利用はありませんでした。

4. 共同募金関係

(1) 共同募金運動への協力

社協が自主的に行う事業の重要な財源となっている赤い羽根共同募金運動は、茨城県共同募金会との申し合わせ事項に基づき、下妻市共同募金委員会の業務として全面的に協力し事業を展開しました。



【地域福祉事業】

1. 相談事業

(1) 心配ごと相談事業（市受託事業）

法律相談を毎月3回開催しました。

（内2回は相談予約なしのため未開催）

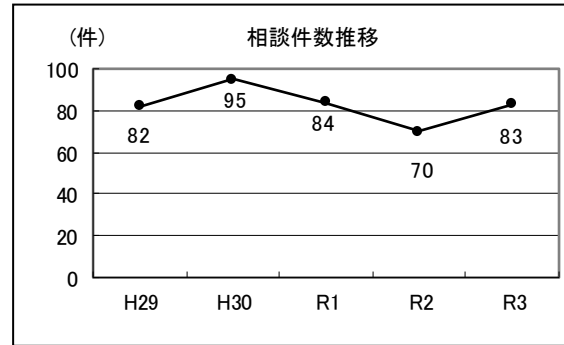
<実績報告>

開催	件数
年間34回 (第2・3・4火曜)	83件

※弁護士3名・相談員8名

<相談内容>

相談内容	延べ件数	相談内容	延べ件数
相続問題	25件	職場	4件
離婚問題	9件	子供の養育・親権	2件
土地（不動産）	9件	財産	2件
金銭の貸し借り	8件	事故等	0件
借金問題	7件	架空請求	0件
家族関係	7件	友人関係	0件
住居問題	5件	その他	12件
隣人関係	5件	—	—
		計	95件



(2) 乳幼児発達相談事業（ポータル発達相談事業）一部市補助事業

- 個別指導：毎月5回の指導日を設けました。

相談予定日に来られなかった親子に対し、臨時の相談日を設け対応しました。年度後半は5回の指導日では足りず、予備日を設け対応しました。

- 集団指導：子どものそれぞれの発達に寄り添い、年齢、国籍、障がいの有無に関わらず、違いを排除することなく共に育つことを目的として指導しました。

開催内容		実施回数	実利用者
個別相談	第1木曜	12回	29名 (新規相談者10名)
	第2木曜	12回	
	第3金曜	12回	
	第4水曜	9回	
	第4木曜	12回	
	予備日:第4金曜	6回	
	臨時	1回	
集団指導	第1.2.3.4火曜	33回	27名(親10名・子17名)

2. 貸付事業

(1)生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

資金の貸付と相談援助を通じて、低所得世帯等が安定した生活を送れるよう茨城県社協に指導いただきながら必要な支援を行いました。

資金種類	昨年度末	新規	完済等	本年度末	滞納
1 福祉資金					
福祉費	6	2	1	7	3
緊急小口資金	4	0	0	4	4
2 教育支援資金					
教育支援費	4	0	0	4	4
就学支度費	3	1	0	4	3
3 総合支援資金					
生活支援費	22	1	0	23	22
住宅入居費	0	0	0	0	0
一時生活再建費	0	1	0	1	0
4 不動産担保型生活資金					
一般世帯向け	1	0	0	1	0
要保護世帯向け	1	0	0	1	0
5 臨時特例つなぎ資金					
臨時特例つなぎ資金	0	0	0	0	0
計（件）	41	5	1	45	36

(2)新型コロナウイルス生活福祉資金特例貸付（県社協受託事業）

新型コロナウイルスの影響により失業、休業等で生活資金に悩みを抱える世帯に、生計の維持を目的に資金の貸付を行いました。

資金種類	期間	件数	金額
緊急小口資金	R3.4.1～R4.3.31	129件	25,350,000円
総合支援資金・初回	R3.4.1～R4.3.31	149件	75,240,000円
総合支援資金・延長	R3.4.1～R3.6.30	44件	23,100,000円
総合支援資金・再貸付	R3.4.1～R3.12.31	168件	87,150,000円
計		490件	210,840,000円

(3)小口資金貸付事業

- ・緊急、一時的な理由で生活資金にお困りの世帯を対象に、相談援助を通じて5万円を上限に資金の貸付を行いました。
- ・新型コロナウイルスの影響長期化により、昨年度と比べ12件、475,500円の貸付増となりました。

内 容	件 数	金 額	完済件数
貸 付	48 件	1,564,500 円	23 件
償 還	58 件	692,500 円	

※R4.3.31 現在 未償還金額 4,399,000 円（滞納分含む）滞納件数 90 件

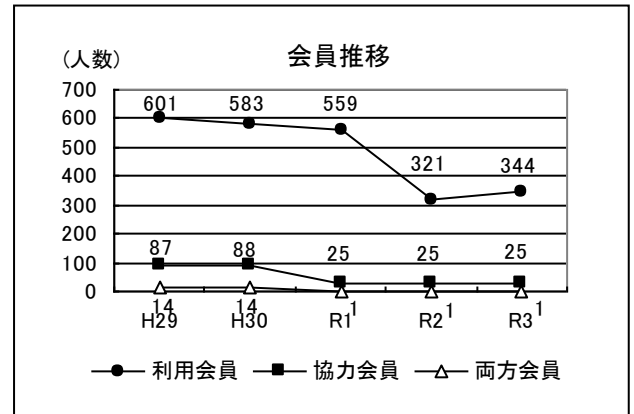
3. 子育て支援事業

(1)ファミリーサポートセンター事業（うえるきっず含む）市受託事業

- ・事業紹介用のパンフレットを全戸配布し周知に努めました。
- ・協力会員研修会、及び、交流会を開催し活動しやすい環境を整えました。

<会員状況>

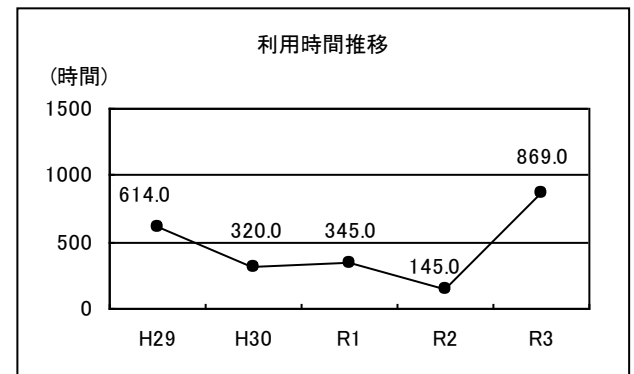
会 員	前年度末	増	減	本年度末
利用会員	321 名	34	11	344 名
協力会員	25 名	0	0	25 名
両方	1 名	0	0	1 名
計	347 名	34	11	370 名



<ファミサポ：利用実績>

内容	利用時間
時間内	869.0 時間
時間外	0 時間
割増	0 時間
計	869.0 時間

※ファミサポは利用会員宅又は協力会員宅でのお預りのサービス

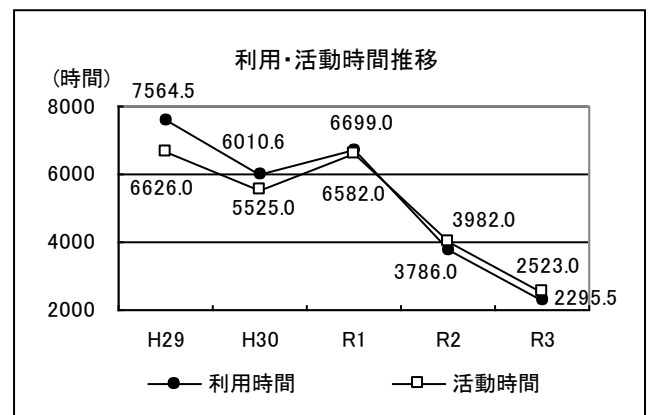


<うえるきっず：利用・活動実績>

内容	利用時間	活動時間
時間内	2,295.5 時間	2,523.0 時間
時間外	0 時間	0 時間
計	2,295.5 時間	2,523.0 時間

※うえるきっずは託児施設（下妻公民館内和室）でのお預りサービス<預り時間 9 時～17 時>

※茨城県が「まん延防止重点措置」適用の為、R4 年 2 月は うえるきっずの利用を休止しました。



<利用内容及び件数：ファミサポ・うえるきっず合算>

内 容	件 数
保育園・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	1 件
小学校からの児童の迎え及び預かり	4 件
学校休みの時の預かり（夏休み・土日など）	164 件
協力会員自宅預かり後うえるきっずでの預かり	10 件
保育園入所前の援助	103 件
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	96 件
他の子供の学校行事の場合の援助	65 件
保護者等の買い物等外出の場合の援助	98 件
産後の育児援助	213 件
計	754 件

<協力会員定例会>

開催日	会 場	内 容	参 加
R4.3/29	うえるきっず託児室	共通理解と意見交換	10名

<協力会員研修会および交流会>

開催日	会 場	内 容	参 加
R3.7/13	下妻公民館	子供の遊び	9 名
R3.10/20・25・26	下妻公民館	救命救急	延べ 27 名
R4.1/25	うえるきっず託児室	感染症予防	10 名
R3.11/10	袋田の滝方面	協力会員交流会	18 名



ファミサポ通信をリニューアルしました



あおぞら・ファミサポ協力会員合同交流会

(2)がんばれ子育て応援講座

子育て世代を対象とした「防災に関する意識調査」の集計結果を基に、市内の子育てに関連する9団体と共催し、防災イベント「わくわく親子防災ハロウィン2021」をWaiwaiドームを会場に感染拡大防止に努めながら開催しました。子どもを含む参加者314名が、楽しみながら防災について学び、日頃の備えの大切さを見直すきっかけを作ることができました。

協力 特定非営利活動法人セカンドリーグ茨城



運営スタッフとして関わった子育て団体の皆さん

4. 生活支援事業

(1)生活支援事業

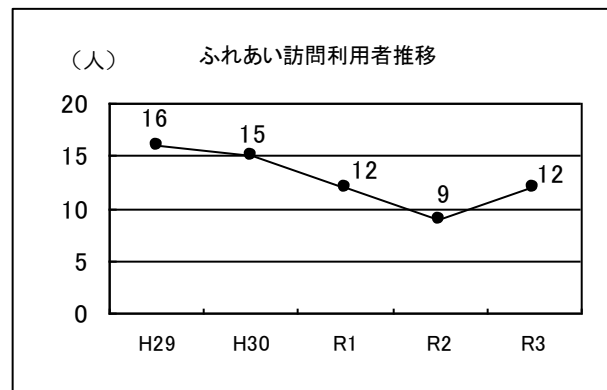
ひとり暮らし高齢者の方を対象に、ふれあいや安否確認を目的とした傾聴訪問、季節感のある絵手紙や、大判で見やすいカレンダーのお届けを行いました。

【ふれあい訪問事業】

傾聴ボランティア「よりそい」が2名1組体制で利用者宅への訪問活動を行いました。

<サービス利用者・施設数>

利用者数	利用施設
12名	0ヶ所

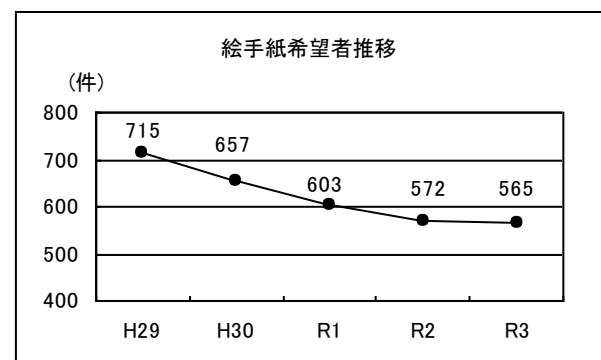


【ふれあいお届け事業】

①絵手紙

実施月	件数
8月	283件
12月	282件
計	565件

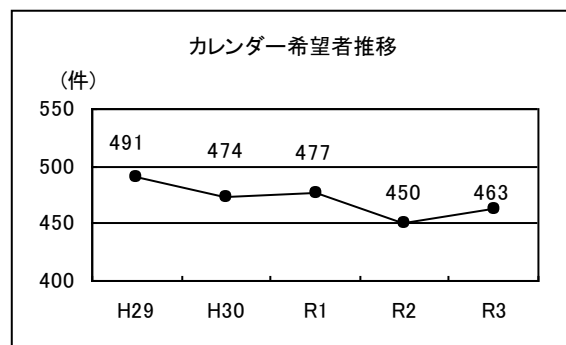
※書き損じハガキを活用
 ※ボランティアサークルの協力により作成
 (絵手紙クラブ コスモス・千代川さくら・大宝すみれ・ふれあい交流会)



②社協オリジナルカレンダー

実施月	件数
12月	463件

※民生委員児童委員協議会にご協力をいただき配付しました。



(2)在宅福祉サービスセンター事業（あおぞらサービス）市受託事業

協力会員の資質向上や増員を目的として、ファミリーサポートセンター事業と合同で研修会および交流会を実施しました。また、新規会員登録として協力会員6名、利用会員19名が増員しました。

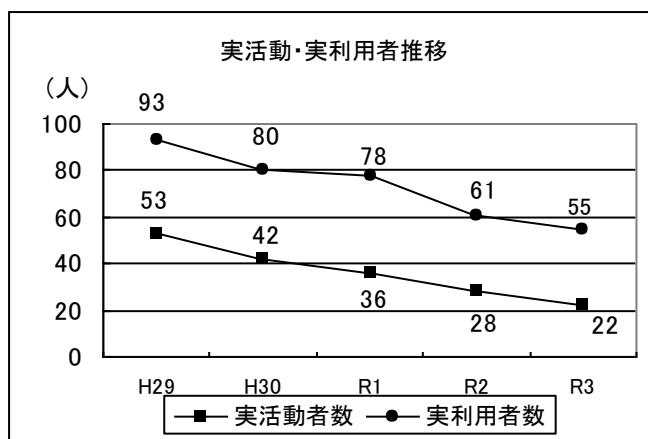
<研修会・交流会>

【ファミリーサポートセンター事業合同開催】

開催日	内容	参加人数
R3.10/20・25・26	救命救急	延べ27人
R4.1/25	感染症予防	11人

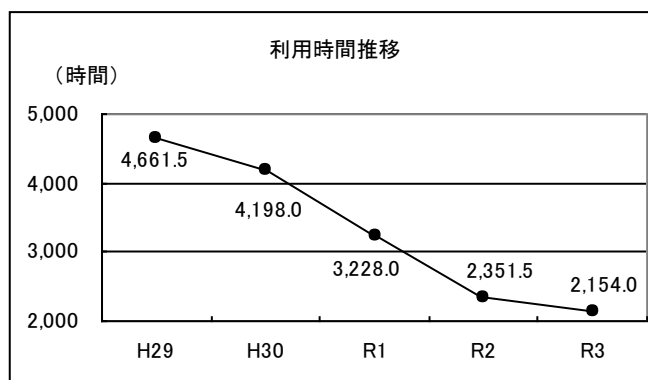
<会員状況>

利用会員	登録会員	62名
	実利用者	55名
協力会員	登録会員	63名
	実活動者	22名



<利用状況>

内容	計
家事支援	1930.0時間
話し相手	48時間
通院介助	113.0時間
その他	63時間
合計	2,154.0時間



(3)日常生活自立支援事業（県社協受託事業）

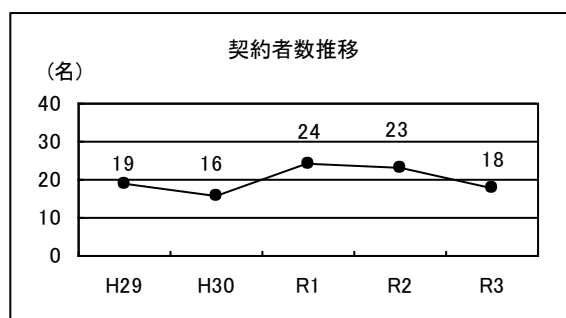
- ・12件の相談うち3件が新たに契約となり、専門員2名、生活支援員7名が延べ291回の支援を行いました。
- ・各種研修会等へ参加し専門員、生活支援員の援助技術、専門性の向上を図ったほか、令和5年度に市からの受託を予定している成年後見制度関連事業の情報収集を行いました。また、計画で定めていた権利擁護支援のスキルアップを目的とした先進地視察については、コロナウイルス感染予防の観点から方法を変更し、オンラインを利用した研修への参加としました。
- ・市の出前講座を活用し、事業の概要・取り組み状況について広報啓発に努めました。

<研修会・会議への参加>

開催日	内 容
R3.5/10~21 (オンデマンド)	医療・福祉関係者のための成年後見制度活用講座実施講座 (県社会福祉士会主催)
R3.6/18	日常生活自立支援事業新任専門員研修会(県社協主催)
R3.7/19	出前講座「社協ってどんなところ？」(下妻市)
R3.9/9・13	第2回成年後見制度利用促進市町村検討会(県社協主催)
R4.1/24・25	専門員実践力強化研修会Ⅱ(全社協主催)
R4.2/8	専門員会議・研修及び生活支援員研修(県社協主催)
R4.3/8	福祉関係者が知っておきたい「任意後見制度」 (権利擁護支援体制全国ネット主催)

<契約状況>

ケース	前年度末	新規契約	解約	本年度末
認知症高齢者	11名	3名	3名	10名
知的障害者	4名	0名	1名	3名
精神障害者	8名	0名	4名	5名
計	23名	3名	8名	18名



<契約者居所>

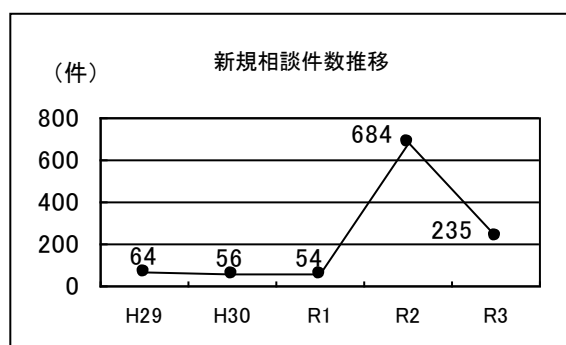
居 所	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
在 宅	6名	3名	5名	14名
施 設	3名	0名	0名	3名
病 院	1名	0名	0名	1名
グループホーム	0名	0名	0名	0名
計	10名	3名	5名	18名
生活保護受給者(再掲)	(8)	(1)	(2)	(11名)
書類預かり(再掲)	(1)	(0)	(1)	(2件)

(4)生活困窮者自立支援事業（市受託事業）

- ・生活困窮世帯の相談に応じ、関係機関と連携しながら個々の状況に応じ必要なサービス提供につなげました。
- ・新たに就労準備支援、家計改善支援事業を市より受託し、研修会等へ参加し研鑽を重ねながら相談者の自立支援に努めました。

<相談支援実績>

内 容	実件数	延件数
自立相談支援事業	235 件	705 件
生活困窮者自立支援法に基づくサービス等利用		
住居確保給付金	16 件	61 件
就労準備支援事業	2 件	6 件
家計改善支援事業	3 件	75 件



(5)学習支援事業（市受託事業）

- ・緊急事態宣言等、新型コロナウイルスの影響により開催日数は減少しましたが、マスク着用や手指消毒、検温、人数制限等の感染防止対策を徹底して開催しました。
- ・より利用しやすい場所となるよう、担当者と学習支援ボランティアが意見交換会を行いました。

内 容	実人数	延人数	登録者数
利用者	11 名	129 名	11 名
ボランティア	9 名	51 名	9 名

開催回数
26 回
(コロナによる中止 19 回)

(6)食糧支援事業（にこにこ294セット）

長期化するコロナ禍で生活に困窮する要保護・準要保護世帯、児童扶養手当を受給するひとり親世帯等を対象に、給食の無い夏休みと冬休み前の2回、企業・団体、市民の方々からの寄付の他、赤い羽根共同募金や県社協助成金を活用し食糧支援を行いました。

開催数	実施日	対象者	配付件数	協力企業等	主な配布物
第2回	7/30 8/12	要保護・ 準要保護世帯	219 世帯	6 企業 8 団体	米、パン、梨、日用品、 インスタント食品他
第3回	12/ 3・4	ひとり親世帯	264 世帯	9 企業 9 団体	米、ケーキ商品券、卵、 インスタント食品他



5. 社会参加・交流事業

新型コロナウイルスの感染拡大を防止のため、各事業において休止期間を設け実施しました。

(1) まちなかサロン事業（市受託事業）

コミュニティーカフェ「ぷらっとほーむ」において、子供から大人まで誰もが気軽に立ち寄れる交流スペースとして、1階では軽食やドリンクの提供の他、レンタルボックスによる雑貨販売を行いました。2階では、仲間づくりや健康づくりのための講座を開催し、多世代の交流の場所の提供に努めました。

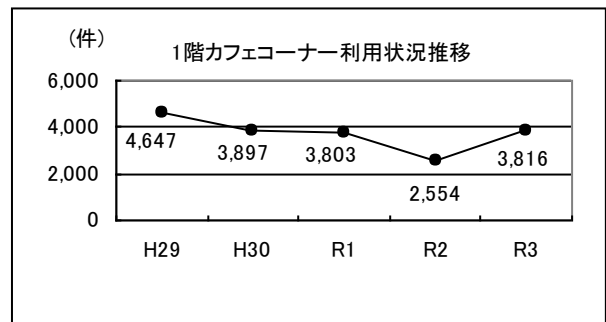
※市委託事業の終了に伴い R3 年度末で事業終了となりました。

< 1階スペース >

営業日数	延利用者数	平均利用者数
193日	3,816名	19.7名

営業時間：10:00～16:00

定休日：土曜日・日曜日



H26年4月オープン



スタッフのみなさん

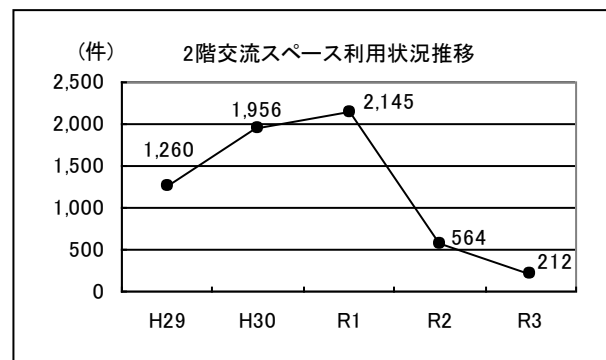
< 2階交流スペース >

シニア世代を中心とした講座を開催しました。

講座回数	延利用者数
26回	212名

【定期講座】

- ・シルバーリハビリ体操
- ・スクエアステップ
- ・健康&美容ヨガ



(2) サロン事業

① サロンの開催に際し、感染拡大防止に向けた注意を促しました。

〈ふれあいサロン開設状況〉 概ね 65 歳以上の高齢者対象

サロン名称	地区	会員数	回数	延べ参加人数
小友会	小野子	19名	31回	201名
あおばずくサロン	西町・旭陣屋	27名	9回	101名
坂本いきいきサロン	坂本	10名	4回	17名
いきいきサロンさぬま	長塚	13名	4回	31名
サロン陽だまり	大宝	37名	11回	139名
比毛サロン	比毛	17名	3回	27名
鎌庭西菊寿会	鎌庭西	17名	8回	64名
食と健康サロンin三新	三道地	40名	27回	189名
上宿お楽しみ会	上宿	16名	3回	40名
横根スクエアステップの会	横根	13名	7回	54名
稲穂の会	平川戸	16名	4回	44名
さくら会（障害者の会）	市内	6名		休 会

〈子育てサロン開催状況〉

サロン名称	会 場	回数	延べ参加人数
ひまわり会	リフレこかい	4回	42名
親子サークルひまわり	リフレこかい・勤労青少年ホーム	9回	153名

〈ふれあいいきいきサロン連絡会・研修〉

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止としました。

② 介護予防教室としてスクエアステップエクササイズを、ボランティア団体「下妻スクエアステップの会」が主体となり実施しました。なお、R3 年度より地域主体で行われていた 2 教室は、ふれあいサロンへ移行しました。

場 所	会員数	回数	参加人数（延べ）
ぷらっとほーむ	17名	7回	90名
砂沼荘	30名	13回	205名
千代川公民館	39名	7回	163名
大宝公民館	17名	3回	38名
リフレ こかい	9名	3回	16名

6. 助成金交付事業

(1) 地域福祉助成事業

社協広報紙、チラシ、ホームページを活用し事業の周知を図りました。

① <助成実績>

時期	No.	申請事業	団体名	決定額
第1期	1	地域活性イベント事業	ハンドメイドサークル 陽だまりマルシェ	200,000 円
	2	非常時等における電源確保事業（発電機購入）	原新田自治会	200,000 円
	3	非常時の電源確保と地域活動（発電機購入）	貝越自主防災会	125,400 円
	4	非常時等の日除け・雨除け確保事業（テント購入）	下宮自治会	195,000 円
第2期	1	各層交流の場所づくり（椅子テーブル購入）	唐崎自治区	147,120 円
	2	地域交流活性事業（椅子テーブル購入）	鎌庭新宿自治区	200,000 円
	3	発電機等整備（更新）事業	陣屋旭自主防災会	199,000 円
	4	地域環境整備（テント・発電機購入）	数須自治会	191,504 円
第3期	1	通学路の除草及び清掃（エンジンプロウ購入）	渋井自治会	46,400 円
	2	災害時及び地域事業資機材整備事業（テント購入）	神明自治会	173,520 円
	3	北浦自治会・自主防災事業（防災倉庫購入）	北浦自治会自主防災組織	136,392 円
	4	ガイドレシーバー購入事業	下妻いいとこ案内人の会	200,000 円
計				2,014,336 円



通学路の除草及び清掃



発電機等整備（更新）事業

②下妻市防災ラジオ購入助成金事業

下妻市が実施した防災ラジオの頒布に際し、市民の購入負担金の軽減措置として、1台につき1,000円の助成を行いました。

助成単価	件数	総額
@1,000円	5,467件	5,467,000円

(2)地域福祉活動支援事業

住民同士が参加・協力して取り組む住み良いまちづくり事業を行う団体並びに当事者団体活動の支援を目的に助成金を配分しました。

<助成実績>

No.	申請事業	決定額
1	たまり場「ゆい」運営事業	50,000円
2	「総上」納涼盆踊り&屋台村	100,000円
3	かみつま朝市開催事業	100,000円
4	「とばのえ」子ども夏まつり事業	100,000円
計		350,000円

※No.2、3、4の事業については新型コロナウイルスの影響で未実施の為、返金となりました。

(3)活動助成事業

地域の特色を活かした福祉活動の取り組みを推進していくため、各支部及び下記の各団体に助成金を配分しました。

<団体助成金>

助成先	件数	金額
支部社協	8件	1,838,000円
自治区長連合会	1件	318,740円
民生委員児童委員協議会	1件	246,000円
合計	10件	2,402,740円

7. 災害・緊急支援事業

<火災見舞金>

件数	金額
1件	20,000円

<行路人旅費>

件数	金額	償還
1件	500円	0円

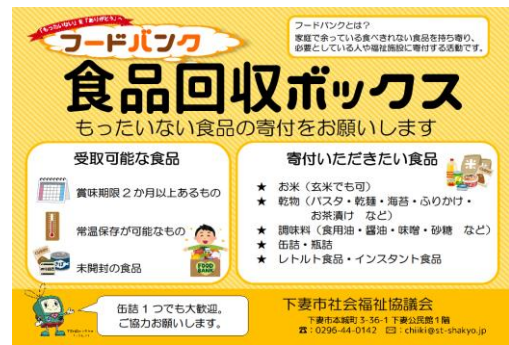
【ボランティアセンター事業】

新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、講座・交流会、各種イベントを一部開催しました。ボランティアセンター事業の存在と事業内容を広く周知すべく、ノベルティを作成し、イベントや交流会にてPRをしました。

また善意銀行ではフードバンクに関する広報や食品回収ボックスを設置するなどフードバンク事業の周知を強化し、生活困窮者やひとり親世帯等への支援に役立てました。



「ボランティアセンター事業ノベルティ」



「フードバンク食品回収ボックス用のチラシ」

1. 相談・登録・紹介

①ボランティアの状況

種別		団体数	会員数
登録	個人	—	59名
	団体	25団体	525名
把握（届出）団体		11団体	908名
計		36団体	1,492名

②ボランティアの相談・登録・紹介

内容	件数
ボランティア活動希望	14件
ボランティア活動依頼	7件
講師・指導者の紹介	0件
福祉教育支援・他	36件
活動者相談・情報提供	24件
保険・物品・その他	20件
計	101件

③ボランティア保険加入状況

種別	加入者数	助成額
登録団体・個人 加入者	379名	75,800円
把握団体・個人 加入者	868名	—
計	1,247名	75,800円

2. 広報・啓発

- ・ノベルティグッズの作成や広報紙等を通じ、ボランティアセンターをPRしました。
- ・学校での福祉教育や個人ボランティア交流会の場において、大規模災害時における「災害ボランティアセンター」の役割について周知を図りました。

開催日	内容	対象	参加
10/30	わくわく親子防災ハロウィン 2021（災害ボラセン周知）	一般参加者	314名
11/5	下妻小学校「防災教室・災害ボラセン周知」	6 学年児童	100名
11/13	盲導犬に会いに行こう！親子バスツアー （災害ボラセン周知）	小学 3～6 年生親子	21 名
11/29	大宝小学校「防災教室・災害ボラセン周知」	4 学年児童	49 名
12/10	東部中学校「防災教室・災害ボラセン周知」	2 学年生徒	122 名
12/23	ボランティア交流会「防災教室・災害ボラセン周知」	個人登録ボランティア 一般参加者	17 名

3. 参加・育成

(1) ボランティア養成事業

共に生きる力を育む福祉教育の一環として、小学生親子を対象とした外出型の福祉教育企画を開催しましたが、地域課題である高齢者や障害者の移動手段を解決するための「移送サービスに関わる講座」は、コロナ感染拡大防止のため中止しました。

開催日	講座名	場所	対象	人数
R3.11/13	盲導犬に会いに行こう！ 親子バスツアー	(公財)東日本盲導犬協会	小学3～6年生 親子	21名
R4.2/22	移送サービス養成講座 講師：茨城福祉移動サービス団体連絡会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		



「盲導犬に会いに行こう！親子バスツアー」

(2) ボランティア活動助成事業

＜ボランティア活動助成＞

申請者	助成件数	助成額
サークル	5団体	150,000円
学校	12校	420,000円
ボ連協	1団体	50,000円
計	18件	620,000円

※ボ連協：下妻ボランティア連絡協議会
(R3年度は12サークル加入)

(3) 福祉教育支援事業

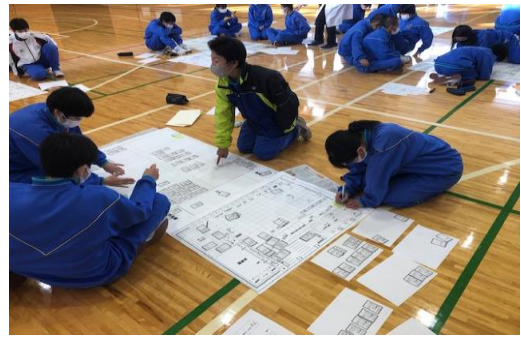
下妻小学校と大宝小学校では河川洪水氾濫に関する防災教室として、下妻市のハザードマップを基にマイ・タイムラインを作成し、東部中学校においては、地震災害を想定した避難所運営訓練 HUG（図上訓練）を実施しました。また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、体験の実施を一部中止としました。

【市内幼稚園1園、小学校8校、中学校1校で実施】

種別	マイタ	手話	点字	ソフ	車い	盲導犬	昔語り	講話	その他	計
実施件数	1	5	4	1	0	1	4	3	3	22件
体験者数	15	139	101	103	0	32	139	88	271	888名
V協力延数	2	28	26	8	0	1	5	—	11	81名
中止件数	1	1	3	0	0	1	1	0	3	10件



マイ・タイムライン作成（下妻小学校）



避難所運営訓練HUG（東部中学校）

(4) 善意銀行

① 善意銀行

預託金	使途内容	件数	金額
寄付金	地域福祉のために	32件	420,451円
未使用切手	//	3件	7,054円

種類	使途内容	預託件数
古切手	特定非営利活動法人日本国際ボランティアセンターへ寄付し、アジアやアフリカの医療従事者派遣に役立てられます	138件
書き損じハガキ	官製ハガキに交換しひとり暮らし高齢者へ絵手紙を届けます	23件
預託品（未使用タオル、大人用紙おむつ他）	必要としている事業所・施設、個人に提供し、役立てられます	68件

② フードバンク事業

- ・フードバンクの周知強化のため、紙面・SNSでの広報の他、食品回収ボックスを市内3か所に設置し、誰もが気軽に寄付ができる環境を整えました。
- ・市内小中学校を通じて保護者へチラシの配付およびメールの配信をするほか、各関係機関へ周知しました。
- ・食品ロス削減の観点より市内企業からの食品提供の他、社内へ食品回収ボックス設置のご協力をいただきました。

<食料品寄付の状況>

寄付	件数
個人	73件

寄付	回収数
株カスミ 市内4店舗	22回
株TAIYO	5回
フードバンク食品回収ボックス	
下妻公民館	10回
福祉センター 砂沼荘	2回
ぷらっとほーむ	6回
計	45回

<配付先の状況>

配付先	件数
個人	231件
市内児童福祉施設	25回



寄付された食品の一部

(5) 災害ボランティアセンター

- ・「災害時における協力体制に関する協定」を下妻青年会議所と締結しました。(11/22)
- ・協定を基に下妻青年会議所や行政、災害ボランティア等に呼びかけ、災害ボランティアセンター運営訓練を茨城県社会福祉協議会と共催で実施しました。(11/27)
- ・訓練により課題となった掲示物等については、拡大コピー機を購入し整備しました。
- ・小、中学校で行う福祉教育において、災害ボランティアセンターの周知に努めました。



4. ボランティアの連携・交流

下妻ボランティア連絡協議会の事業「砂沼を歩こう会」は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止としました。

市内で個々に活動をしているボランティアとこれからボランティア活動を行いたい方を対象とした交流会「マイ・タイムライン」作成講座を開催しました。

<研修・交流会>

開催日	講座名	内容	参加
10/17	交流会 砂沼を歩こう会	対象：下妻ボランティア連絡協議会員 会場：砂沼周辺および砂沼荘 主催：下妻ボランティア連絡協議会	中止
12/23	ボランティア交流会 下妻市の防災について マイ・タイムライン作成講座	講師：市消防交通課職員・社協職員 対象：個人登録ボランティア・一般 会場：砂沼荘	17名



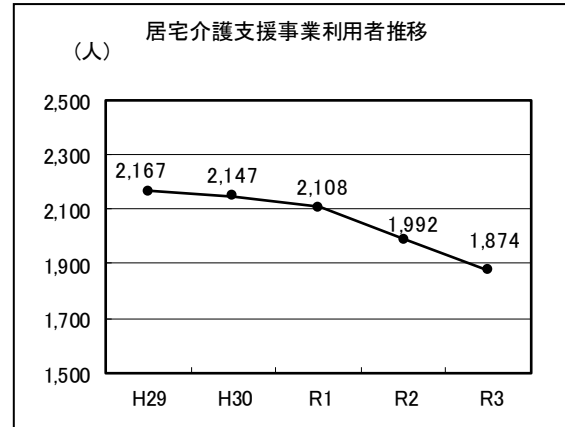
「ボランティア交流会」マイ・タイムライン作成講座

【介護保険等事業】

1. 居宅介護支援事業・介護予防ケアマネジメント事業

- 主任介護支援専門員を3名に増員し体制の強化を図りました。

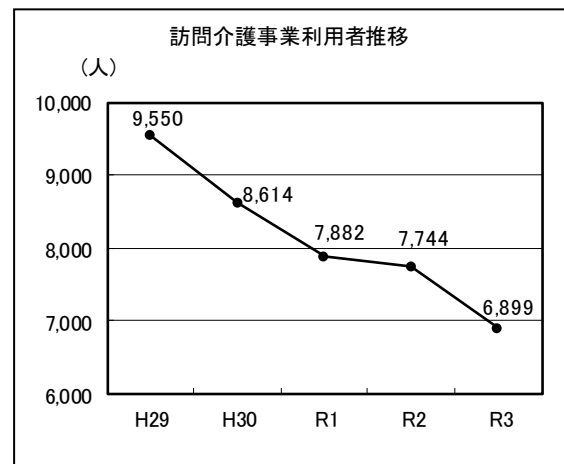
区分	延べ利用者
要支援 1	94名
要支援 2	118名
要介護 1	488名
要介護 2	509名
要介護 3	380名
要介護 4	179名
要介護 5	106名
計	1,874名



2. 訪問介護事業・介護予防訪問介護相当サービス事業

- コロナウイルス感染予防に配慮しサービスの提供に努めました。

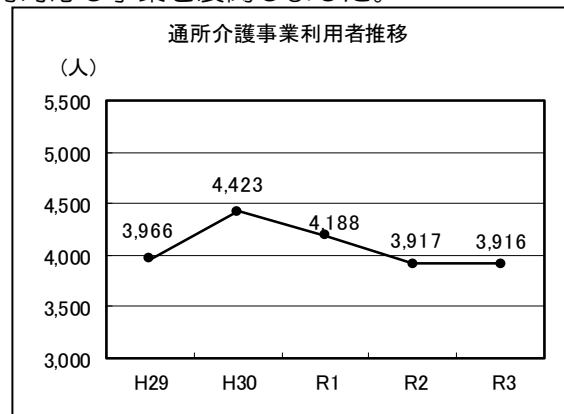
区分	延べ利用者
要支援 1	301名
要支援 2	309名
要介護 1	822名
要介護 2	1,612名
要介護 3	1,483名
要介護 4	1,238名
要介護 5	1,134名
計	6,899名



3. 地域密着型通所介護事業・介護予防通所介護相当サービス事業

- コロナウイルス感染による事業休止など適時対応し事業を展開しました。

区分	延べ利用者
要支援 1	0名
要支援 2	188名
要介護 1	1,263名
要介護 2	1,585名
要介護 3	578名
要介護 4	280名
要介護 5	22名
計	3,916名

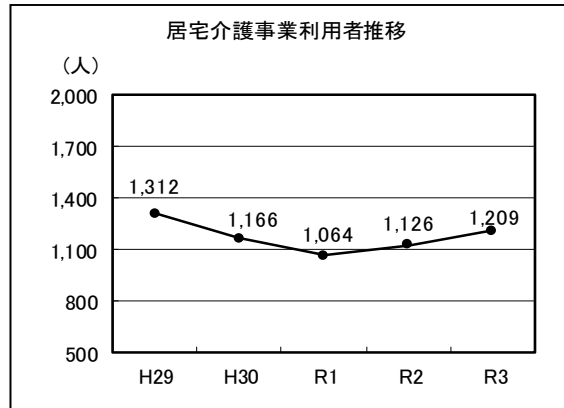


【障害者総合支援事業】

1. 居宅介護事業

- 相談支援専門員など関係機関との連携を図りサービスを提供しました。

区分	延べ利用者
区分1	0名
区分2	102名
区分3	41名
区分4	569名
区分5	0名
区分6	497名
児童	0名
計	1,209名



2. 重度訪問介護事業・行動援護事業

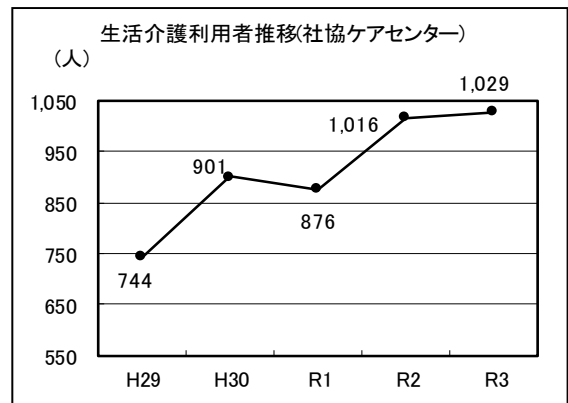
- 両事業とも対象となるケースがなく、実績はありませんでした。

3. 生活介護事業

- 新たな加算取得により運営の安定化を図りました。(社協ケアセンター)

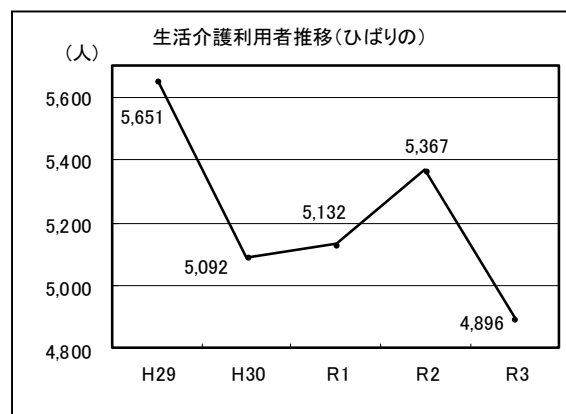
<社協ケアセンター>

区分	延べ利用者
区分1	0名
区分2	23名
区分3	202名
区分4	102名
区分5	255名
区分6	447名
計	1,029名



<ひばりの>

区分	延べ利用者
区分1	0名
区分2	0名
区分3	413名
区分4	1,654名
区分5	1,429名
区分6	1,400名
計	4,896名



4. 相談支援事業

- ・対象となるケースがなかったため、実績はありませんでした。

※平成 29 年度から令和 3 年度までの実績はありません。

5. 障害者日中一時支援事業

- ・特別支援学校等の長期休暇期間及び休日等に一時的預かりの実績はありませんでした。

